
イヤリング

じかん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
イヤリング

【Nコード】
N3542W

【作者名】
じかん

【あらすじ】
フリーマーケットで貰ったイヤリングに異変が・・・と云うお話です。自サイトにも掲載しています。

今日は楽しかった。彼女の気持は弾んでいた。

早速、フリーマーケットで買った服と小物を広げて、鏡の前であれこれと身につけて

は、イメージを膨らませて没頭した。気がついた時には、空腹を感じて夕食の頃合だった。

た。冷蔵庫にある物で料理し、簡単に食事を済ませると、再び鏡の前に行った。そして、

て、買った物を仔細に吟味し始めると、買った覚えの無い物があり、ちよつと小首を傾

げると、あちこちで沢山買ったので、おまけで貰った物も多少あって、その中の物だと

いう事を思い出した。それは小さな雫の形をした、翡翠が付いたイヤリングだった。彼

女はピアスが嫌いなのだ。なぜ、わざわざ、おしゃれの為とはいえ、自分の身体を傷つ

けるのか、それが彼女には理解できなかった。

翌日、出かける準備をして、身支度をした。鏡の前に立ち、翡翠のイヤリングを付け

た時に異変は起きた。誰かの囁きが聞えて、何か云っているようだ。一人暮らしの彼女

は、テレビか、ラジオでも切り忘れたのかと思ったが、そうではなかった。

明らかに耳元から女性の声で「次はお前だ」そう云っている。すると間もなくイヤリ

ングから水滴がこぼれて、その勢いを増して、肩を濡らしながら、下に向かって、もう

水滴とは云えない状態になった。彼女は慌ててイヤリングを外そう

としたが、イヤリン

グは外れず、水も止まらず徐々に彼女の身体を包み込んでいき、悲鳴をあげた。やがて

水に全身を包まれて彼女は倒れて転がったが、水は床に広がる事なく身体を包んでい

て、意識が薄くなり始めた時に、マンションに迎えに来た彼氏が合鍵で入って来た。

異様な状況に驚いている彼だが、直ぐに部屋を出て行き戻って来て、消火器のレバー

を握りホースを彼女に向けて放射した。すると、イヤリングも外れて、彼女を包んでい

た水分の勢いは止まり、身体から離れ、何処かに行ってしまったように、消火器も空に

なった。彼は彼女を抱きかかえ、意識を確かめたが幸い彼女は一命を取り留めた。

その後、イヤリングを確かめたが、翡翠は無く、金具の部分だけだったがハンマー

で潰して廃棄した。

彼女はトラウマにならないかな、と思った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3542w/>

イヤリング

2011年9月2日14時10分発行